

領域8 インフォーマルミーティング議事録

開催日時：2022/9/10(土) 18:00 – 18:45

開催地：オンライン (Zoom)

議長：石田 憲二 (領域代表, 京大院理)

司会：関 和弘 (運営委員代表, 理研 RQC)

議事録作成：大同 暁人 (書記 京大院理)

出席者

領域代表 (2022/4 - 2023/3) 石田 憲二 (京大院理)

領域副代表 (2022/4 - 2023/3) 有田 亮太郎 (東大先端研)

領域運営委員 (2021/10 - 2022/9)

水上 雄太 (東北大院理/実験)、大同 暁人 (京大院理/理論)、関 和弘 (理研 RQC/理論)、齋藤 開 (東大物性研/実験)

領域運営委員 (2022/4 - 2023/3)

下澤 雅明 (阪大基礎工/実験)、鬼頭 俊介 (理研 CEMS/実験)、橘高 俊一郎 (中大理工/実験) 山根 悠 (兵庫県立大/実験)、杉本 高大 (慶大理工/理論)

次期領域運営委員 (2022/10 - 2023/9)

寺嶋 健成 (NIMS/実験)、白川 知功 (理研/理論)、大塚 雄一 (理研/理論)、清水 悠晴 (東北大金研/実験)

参加者：37名 (上記出席者を含めて)

学生優秀発表賞 受賞者紹介

関氏・石田先生から受賞者の紹介が行われ、受賞者挨拶が行われた。受賞者は大岩 陸人 (名大理工)、金城 克樹 (京大院理)、山家 椋太 (東大工)、小島 慶太 (名大院工)の4名。

議題1：プログラム編集について (関)

通常の大会との変更点

1) 9月10日(土)がシンポジウム講演のみのオンライン開催(素核宇・物性共通)、9月12日(月)-15日(木)が口頭講演とポスター講演からなる現地とオンラインのハイブリッド開催となった。

反省点・提案

1) 運営委員代表と運営委員副代表の連絡にはメールと Slack（無料版）を用い、運営委員代表と他の運営委員との連絡にはメールを用いた。連絡手段としてはこれで十分だが、引き継ぎまで考えると、やりとりを永続的に残せる領域 8 スタッフ用 Slack チャンネルがあるのが理想的。

2) 秋季大会は 1 人 3 件まで講演申し込み可能。領域間の重複調整はメールで行なったが、各領域のプログラム編集の進捗に応じて折り返しの確認が頻繁に必要だった。プログラム編時期だけでも各領域の連絡責任者が参加する Slack チャンネル作成を呼びかけてもよいかもしれない。

2022/9/5 時点

2022 秋 一般講演(申込みベース)

	口頭	ポスター	合計
低温	140	52	192
磁性	61	48	109
全体	201	100	301

(参考) 2022 春 (Web)

	口頭	ポスター	合計
低温	158	56	214
磁性	64	49	113
全体	222	105	327

[“2022 秋”の表における

“磁性”と“低温”の定義]

磁性：第一キーワードが 4f 電子系

または 5f 電子系

低温：第一キーワードがそれら以外

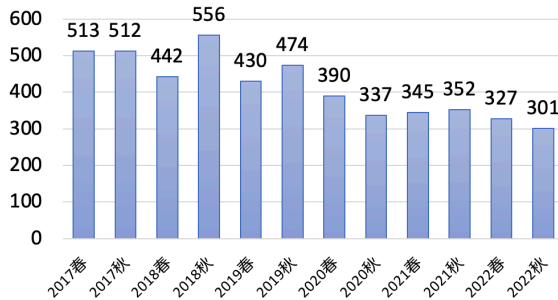
今大会の概要集提出率

2022年秋季大会 概要集提出率

領域	講演者数	論文提出数	論文提出率
領域1	141	134	95.0%
領域2	112	107	95.5%
領域3	166	161	96.9%
領域4	112	107	95.5%
領域5	201	198	98.5%
領域6	114	106	92.9%
領域7	80	74	92.5%
領域8	321	317	98.7%
領域9	46	46	100.0%
領域10	94	93	98.9%
領域11	341	308	90.3%
領域12	138	129	93.4%
領域13	61	59	96.7%
素粒子論領域	161	82	50.9%
素粒子実験領域	223	145	65.0%
理論核物理領域	88	70	79.5%
実験核物理領域	152	122	80.2%
宇宙線・宇宙物理領域	241	138	57.2%
合計	2792	2396	85.8%

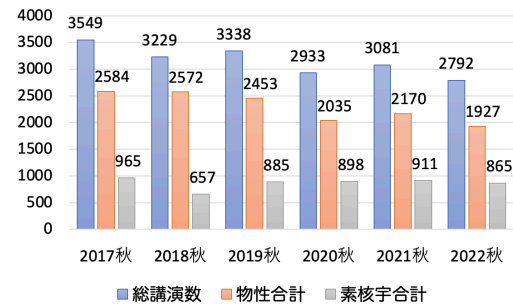
物性合計	1927	1839	95.4%
素核宇合計	865	557	64.4%

参考：領域8 講演数の推移

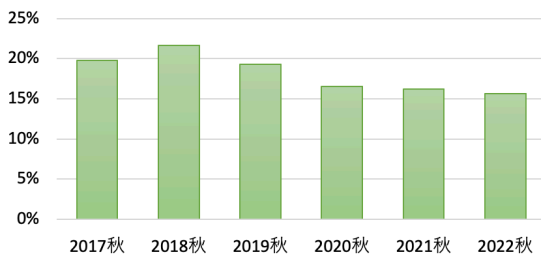


参考：秋季大会 講演数の推移

事業報告書：<https://www.jps.or.jp/outline/jigyuhoukoku/index.php>



参考：領域8 講演数/物性合計



2022 秋 (東工大+Web) 301

2022 春 (Web) 327

2021 秋 (Web) 352

2021 春 (Web) 345

2020 秋 (Web) 337

2020 春 (コロナ中止) 390

講演数比(“2022 秋”/“2017 秋”)

総講演数：0.787

物性合計：0.746

素核宇合計：0.896

領域8：0.587

講演数は減少を続けており、最低値を更新した。

領域8では物性全体と比較しても減少幅が大きいことを危惧するコメントが石田先生からあった。

議題2：領域委員会報告(石田)

報告事項

- 担当理事報告(寺崎 一郎 委員長、川畑 貴裕 副委員長)
 - ・今期領域正副代表、領域運営委員の紹介
 - ・2022年秋季大会の開催方法について

審議事項

- 2022年秋季大会招待・企画・チュートリアル講演、シンポジウム講演の採択状況：物性領域・寺崎委員長
 - ・招待講演：1件採択(条件付含む)、0件不採択

た。

次期 web 担当 寺嶋 健成

次期 運営副代表 白川 知功

次期 運営代表 大塚 雄一

次期 書記 清水 悠晴

議題 5：次次期領域運営委員の推薦・承認（関→橘高）

石田茂之（産総研 低温・実験）

黒澤 徹（室工大 低温・実験）

西口和孝（神戸大 低温・理論）

中村翔太（名工大 磁性・実験）

金子竜也（阪大 磁性・理論）

任期：2023 年 4 月～2024 年 3 月

橘高先生から次次期運営委員 5 名の簡単な紹介があり、各氏から一言挨拶があった。
次次期運営委員としてこの場で承認された。

議題 6：次次期領域副代表の推薦・承認（石田→有田）

次々期領域副代表（2024/04-2025/03）として

黒木和彦氏（大阪大学理 物理学専攻 教授）の推薦があり、承認された。

黒木先生から一言挨拶があった。

議題 7：そのほか（石田）

賞の推薦受付中

- ・ 日本物理学会第 28 回論文賞受賞候補論文（領域 8）
- ・ 第 4 回（2023 年）日本物理学会 米沢富美子記念賞
 - ・ 締め切り：2022 年 10 月 14 日（金）
 - ・ 宛先：領域 8 代表・石田 憲二 jpsf8info@gmail.com

以上 2 件について推薦と応募の依頼がなされた。

インフォーマルミーティング終了後 (-18:57)

学生優秀発表賞担当の引き継ぎについて、簡単な打ち合わせが行われた。

以上